

世界遺産登録地内で対策強化

アイドリング・ストップ！

和歌山県 「ごみ持ち帰り」もPR(本宮町で)



ドライバーにアイドリング・ストップを啓発

世界遺産登録地域内「アイドリング・ストップ対策の強化など」

温暖化対策条例」が9月1日から、施行される。これに先立ち、高野・熊野地域において「アイドリング・ストップ&ごみ持ち帰り」街頭PR活動を行うこととし、熊野地域では23日、田辺市本宮町の熊野本宮大社参道入り口の駐車場で実施した。

参加したのは県環境生活総務課、県世界遺産センター、田辺保健所の職員ら約10人。午前11時から始まったキャンペーンでは時代衣装を身につけ、同大社



観光客らに「ごみ持ち帰り」をPR

を訪れる観光客や熊野古道を歩くハイカーらにキャンペーングッズを配って啓発した。

高野山では22日中に橋駐車場前で実施。当地を訪れた観光客らに「室温28度設定」をアピールする団扇(うちわ)、ティッシュなど配布は、アイドリング・ストップなどの実践を呼び掛けた。